

平成  
15年度

# 富士見町のバランスシート を作成しました



## バランスシートの作成方法は？

地方公共団体が普通会計の財政状況をわかり易く公表するために、総務省の統一基準により作成しましたが、次のような条件や留意点があります。  
●作成した基準日は平成16年3月31日現在です。●対象と成る会計は普通会計（一般会計と有線放送電話特別会計、公共用地取得事業特別会計）で、水道会計、下水道会計、土地開発公社等の会計は含まれていません。●積み上げた基礎数値は昭和44年度以降の決算統計のデータによるものです。

## 普通会計のバランスシート

平成16年3月31日現在

### バランスシートとは？

バランスシートは、町が所有している資産がどの位あり、その資産を形成するために要した借入金や町税などの財源はいくらなのかを示したものです。民間企業でいう「貸借対照表」に当たります。



**有形固定資産**  
庁舎、学校、コミ・プラなどの建物やそれらの用地や道路など。(土地を除き減価償却をしたもの)

**投資等**  
土地開発公社などに対する出資金、特定な目的の使用のために積み立てた積立金など。

**流動資産**  
財政調整基金、現金、預金など。

### 資産や負債などの状況（要約）

#### 借方（資金の用途）

資金を何に使ったか

#### ■資産（将来にわたり使用する財産）

①有形固定資産	308億4,921万円
土木費	95億8,583万円
教育費	80億4,276万円
農林水産業費	43億495万円
※行政目的別上位抜粋	
②投資等	23億9,425万円
③流動資産	26億5,138万円
<b>資産合計</b>	<b>358億9,484万円</b>

#### 町民1人あたりでは・・・

①有形固定資産	198万円
②投資等	15万円
③流動資産	17万円
<b>資産合計</b>	<b>230万円</b>

#### 貸方（資金の調達）

資金をどこから調達したか

#### ■負債（これからの世代が負担していく）

④地方債（町債）	66億445万円
⑤債務負担行為	0万円
⑥退職給与引当金	7億9,858万円
<b>負債合計</b>	<b>74億303万円</b>
■正味資産（これまでの世代が負担してきた）	
⑦国庫支出金	13億9,111万円
⑧県支出金	18億996万円
⑨一般財源等	252億9,074万円
<b>正味資産合計</b>	<b>284億9,181万円</b>
<b>負債・正味資産合計</b>	<b>358億9,484万円</b>

負債合計	47万円
正味資産合計	183万円
<b>負債・正味資産合計</b>	<b>230万円</b>

（平成16年3月31日現在の人口で算出）

**地方債**  
学校、道路などの整備や収不足を補う際に借り入れた借入金。

**債務負担行為**  
用地等の購入費をローンで行っているもの。

**退職給与引当金**  
年度末に職員全員が退職すると想定した場合に必要な退職手当総額の推計。

**正味資産**  
資産を形成するために獲得した国、県の補助金、町民が負担した税金。



町民1人あたりでは・・・

### バランスシートから分かること

決算時点での町の資産や負債等の状況を把握することができます。道路、学校、コミュニティ・プラザ等の施設の建設やその土地の取得など、今ある資産にたいして92.4%の支払が済んでいて、今後の支払は7.6%と低くなっています。

284億9,181万円（正味資産合計）

308億4,921万円（有形固定資産合計） = 92.4%

ただし、たくさんの建物や施設を持っており、それらの修繕や建て替えには大きな費用がかかるため、それに対する備えが必要です。

### 資産の部で土木費が多いのはなぜ？

富士見町には、整備された道路や河川があるからです。

次に「教育費」が多いのは、小・中学校、図書館、体育施設などがあるからです。

続く「農林水産業費」の内容として、農道、林道の整備、農業基盤整備等があげられます。



## 住民1人当たりのバランスシート前年度対比

	平成14年度	平成15年度
資 産 額	2,358,208円	2,306,422円
負 債 額	493,933円	475,682円
正 味 資 産 額	1,864,275円	1,830,740円